

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
歯科医療従事者の働き方と今後の需給等に関する調査研究
令和元年度 分担研究報告書

歯科衛生士の働き方等に関する意向分析（2）：歯科衛生士総合研修センターでの調査

研究分担者 則武 加奈子 東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科総合診療部 助教
研究代表者 三浦 宏子 国立保健医療科学院 国際協力研究部 部長
研究分担者 田野 ルミ 国立保健医療科学院 生涯健康研究部 主任研究官
研究分担者 大島 克郎 日本歯科大学東京短期大学 教授
研究協力者 福田 英輝 国立保健医療保健科学院 歯科口腔保健研究分野 統括研究官

研究要旨

【目的】 厚生労働省が平成29年度より実施している「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止事業」を利用した歯科衛生士を取り巻く状況や、勤労観、職業観を分析し、今後の活動推進を図るための基礎資料を提示することを目的とする。

【方法】 厚生労働省委託事業先である東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科衛生士総合研修センターをセンターが開設された2017年12月から2019年9月までに受講した91名を対象とした。郵送法による無記名の自記式質問票調査を実施した。調査項目は、①センター受講時、養成校卒業時、離職時などでの状況や、勤労観や職業観等、②University of Tokyo Health Sociology version of SOC 3 Scale（東大健康社会学版3項目SOCスケール：以下SOC-UTHS）引用、③属性を主要項目とした29問の質問を設定した。

【結果】 68通の返送があった（回収率74.7%）。単純集計に加えて、「免許取得3年未満就業中」ならびに「免許取得3年未満離職・休職中」を「新人」（14名、20.6%）、「免許取得3年以上で離職・休職中」ならびに「免許取得3年以上で復職3年未満」を「復職」（46名、67.6%）とし各々の傾向を分析した。回答者の平均年齢は44.3歳（22歳-60歳）であった（2019年12月1日時点）。「新人」の平均年齢は33.1歳（22-56歳）、「復職」の平均年齢は47.8歳（31歳-60歳）であった。センターでの研修を受講しようと考えた理由は「スキルの向上」が32.4%で最も多く、次いで「自信をつけたい」24.3%であった。回答者の80.9%が研修を受講して「とても良かった」あるいは「良かった」と回答した。研修を受講して感じられたこととして、「新しい知識・技術が身についた」が52.9%と最も多く、次いで「相談できる環境・仲間ができた」（51.4%）、「自信がついた」（47.1%）と続いた。

回答者のうち68.9%は歯科衛生士として仕事を離れていた時期があると回答した。職を離れていた理由として70.6%が「結婚、子育てのため仕事ができなくなったから」と回答し、次いで「歯科衛生士の仕事に魅力を感じなくなったから」（23.5%）であった。復職を考えたきっかけとしては、「子育てなどがひと段落したから」が45.1%と最も多く、次いで「仕事をする必要性ができたから」（25.5%）であった。

【結論】 免許取得直後、もしくは求職中・復職直後の歯科衛生士の歯科衛生士総合研修センターにおける研修受講は知識・技術の獲得、相談できる仲間・環境の獲得、自信の獲得につながったと考えられた。仕事と生活を両立しながら勤務が継続できる勤務条件（勤務時間・勤務場所）を整えることも歯科衛生士の離職防止・復職支援において重要と考えられた。

A. 研究目的

高齢期の口腔衛生管理の重要性から歯科衛生士のニーズの増加が指摘されているが、未就業者が多く、歯科衛生士数は不足している。歯科衛生士の就業に関するこれまでの研究では、30歳代での未就業率が高いことに加え、20歳代での歯科衛生士で1/3以上が離職経験を有していた（厚労科研 H29-医療-一般-003）。こうした現状を改善するべく、厚生労働省では平成29年度より「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止事業」を実施している。本研究の目的は、本事業を利用した歯科衛生士を取り巻く状況や、勤労観や職業観を分析し、今後の活動推進を図るための基礎資料を提示することである。

B. 研究方法

(1) 対象

厚生労働省委託事業先である東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科衛生士総合研修センターをセンターが開設された2017年12月から2019年9月までに受講した91名を対象とした。

(2) 調査方法

郵送法による無記名の自記式質問票調査を、2019年11月1日（金）から同年11月22日（金）に行った。調査票は、A3用紙両面1枚に3項目29問を設定した。調査項目は、①センター受講時、養成校卒業時、離職時などでの状況や、勤労観や職業観等、②University of Tokyo Health Sociology version of SOC 3 Scale（東大健康社会学版3項目SOCスケール：以下SOC-UTHS）引用、③属性に関することとした。設問および回答選択肢は、歯科衛生士の就業に関する先行研究の調査内容を参考に設計した。

本調査は、東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科衛生士総合研修センターの協力を得て行った。調査票は対象者に、研究班からの調査依頼文および歯科衛生士総合研修センターセンター長からの依頼文を付し、返送用封筒とともに送付した。

(3) 分析方法

はじめに、全数における単純集計を行ったのち、免許取得3年未満（以下「新人」）、免許取得後3年以上かつ離職中・復職後3年未満（以下「復職」）各々における傾向を分析した。

(4) 倫理面への配慮

研究代表者が所属する国立保健医療科学院の研究倫理審査を受け、承認されたうえで実施した（承認番号：NIPH-IBRA#12254）。調査協力は自由意志によるものとするのを調査依頼文に明記した。

C. 研究結果

調査対象者91名に回答を依頼した結果、68通の返送があった（回収率74.7%）。センター受講時の状況の回答から、「免許取得3年未満就業中」（12名、17.6%）ならびに「免許取得3年未満離職・休職中」（2名、2.9%）を「新人」（14名、20.6%）、「免許取得3年以上で離職・休職中」（20名、29.4%）ならびに「免許取得3年以上で復職3年未満」（26名、38.2%）を「復職」（46名、67.6%）とした。

1) 属性

回答者の平均年齢は44.3歳(22歳-60歳)であった(2019年12月1日時点)。「新人」の平均年齢は33.1歳(22-56歳)、「復職」の平均年齢は47.8歳(31歳-60歳)であった。免許取得年からの平均経過年数は21年(0-39年)、「新人」が1.54年(0-3年)、「復職」が25.9年(5-39年)であった。

卒業した養成学校は、2年制が48名(70.6%)、3年制が13名(19.1%)、4年制が4名(5.9%)、1年制が3名(5.9%)であった。このうち「新人」では、3年制が11名(78.6%)、4年制が3名(21.4%)であり、「復職」では、4年制が1名(2.2%)、3年制が1名(2.2%)、2年制が42名(91.3%)、1年制が2名(4.3%)であった。

調査票に回答した時点における勤務状況としては、常勤が23名(34.3%)、非常勤が36名(53.7%)、休職中が5名(7.5%)、その他3名(4.5%)であった。「新人」では、常勤が12名(85.7%)、非常勤が2名(14.3%)であった。「復職」では、常勤が8名(17.8%)、非常勤が30名(66.7%)、求職中が5名(11.1%)、その他2名(4.4%)であった(図1)。

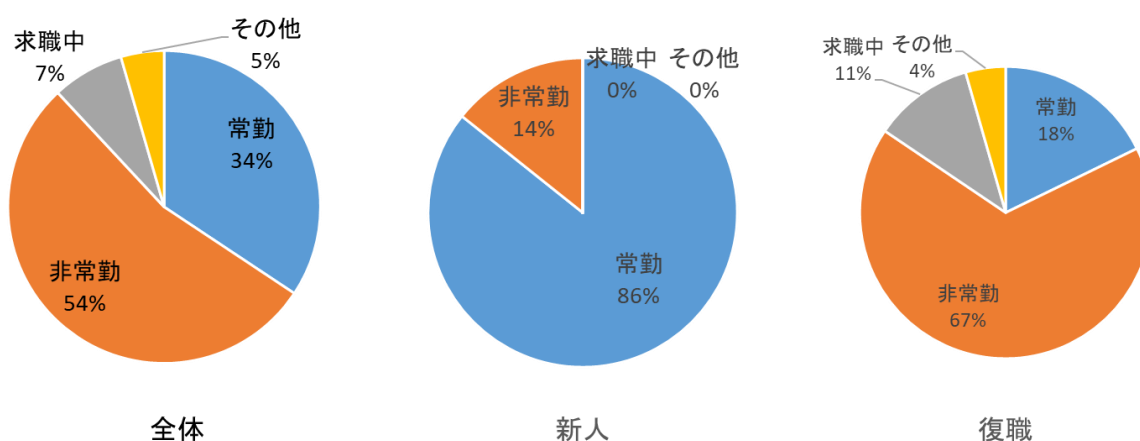


図1：回答者の現在の勤務状況

2) 歯科衛生士総合研修センター受講に関連する設問

センターを知ったきっかけとして、インターネットが27名(39.7%)と最も多く、ついでチラシ13名(19.1%)、知人からの紹介10名(14.7%)と続いた。「新人」では、チラシ6名(42.9%)、勤務先の上司・同僚からの紹介5名(35.7%)、インターネット2名(14.3%)の順となり、「復職」ではインターネット25名(54.3%)、新聞・雑誌などの掲載記事8名(17.4%)、知人からの紹介6名(13.0%)であった。

研修を受講しようと考えた理由を選択肢から重視する順番に1位から3位まで回答を求めたところ、1位は「スキルの向上」が最も多く24名(32.4%)で、次いで「自信をつけたい」18名(24.3%)であった。2位と3位はいずれも「新しい知識・技術を身につけたい」が最も多かった。「新人」の1位は「スキルの向上」が最も多く9名(64.3%)、2位は「自信をつけたい」が最も多く5名(35.7%)、3位は「新しい知識・技術を身につけたい」が最も多く5名(35.7%)であった。「復職」では、1位は「自信をつけた

い」と「復職したいと思ったから」が同数で14名(30.4%)、2位は「新しい知識・技術を身につけたい」が最も多く15名(32.6%)、3位は「自信をつけたい」と「新しい知識・技術を身につけたい」が同数で11名(24.4%)であった(図2)。

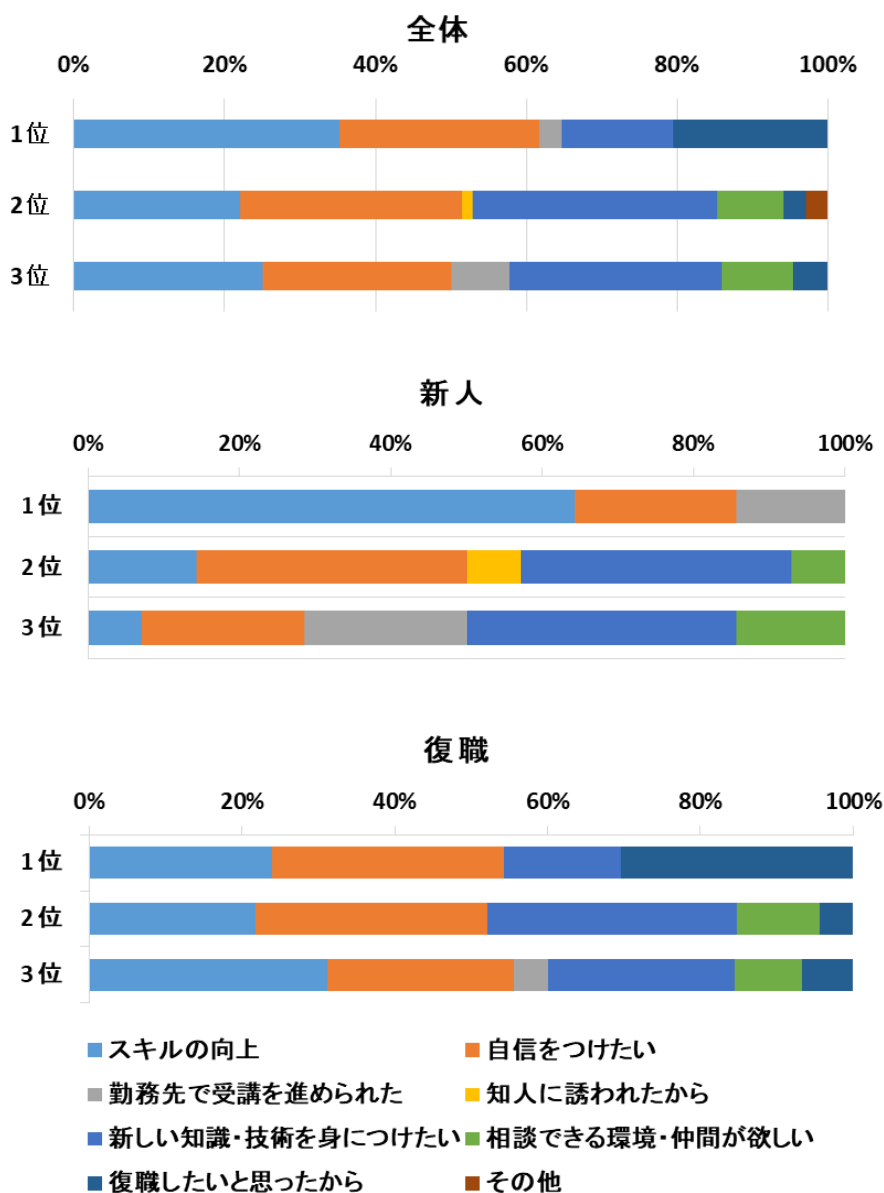


図2：研修を受講しようと考えた理由

研修を受講して良かったかの設問には、32名(47.1%)が「とても良かった」、23名(33.8%)が「良かった」、9名(13.2%)が「まあまあ良かった」、2名(2.9%)が「普通」、2名(2.9%)が「あまり良くなかった」と回答した。新人は、6名(42.9%)が「とても良かった」、6名(42.9%)が「良かった」、1名(7.1%)が「まあまあ良かった」、1名(7.1%)が「普通」と回答した。「復職」では、22名(47.8%)が「とても良かった」、15

名(32.6%)が「良かった」、6名(13.0%)が「まあまあ良かった」、1名(2.2%)が「普通」、2名(4.3%)が「あまり良くなかった」と回答した。

研修を受講して感じられたことを選択肢から複数回答可で回答を求めたところ、「新しい知識・技術が身についた」が36名(52.9%)と最も多く、次いで「相談できる環境・仲間ができた」が35名(51.4%)、「自信がついた」が32名(47.1%)と続いた。「新人」では「自信がついた」・「新しい知識・技術が身についた」・「相談できる環境・仲間ができた」が7名(50%)と最も多く、復職では、「相談できる環境・仲間ができた」が24名(52.2%)と最も多く、「新しい知識・技術が身についた」が22名(47.8%)、「自信がついた」が32名(41.3%)であった(図3)。

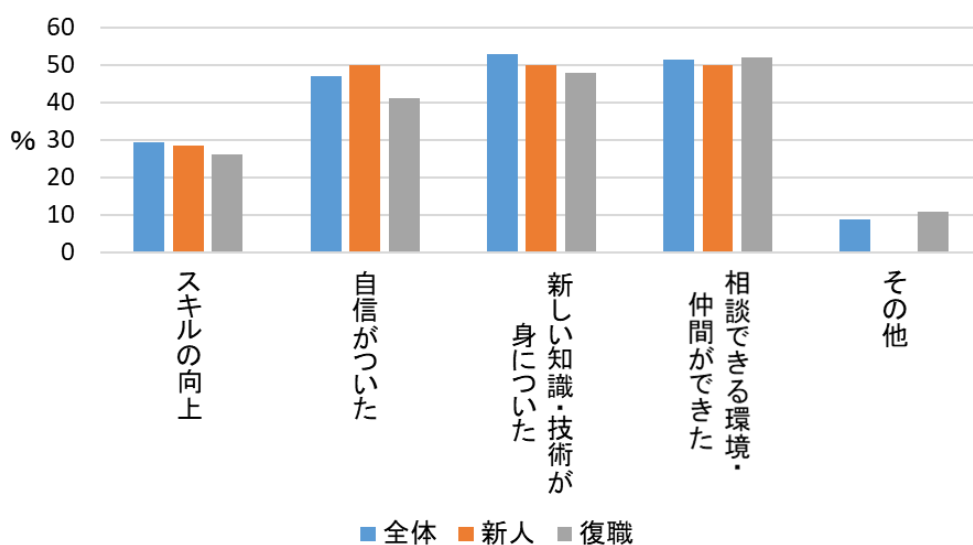


図3：センターを受講して感じたこと（複数回答可）

3) 研修会や勉強会の受講に関する設問

「過去1年間に他の研修を受講しましたか？」では、43名(63.2%)がいずれかの講習会を受講していた。全体では、民間主催の講習会が24名(35.3%)と最も多く、次いで「歯科衛生士会主催の講習会」20名(29.4%)であった。「新人」では7名(50%)がいずれかの講習会を受講し、5名(35.7%)が「民間主催の講習会」と最も多かった。「復職」では30名(65.2%)がいずれかの講習会を受講し、17名(37.0%)が「歯科衛生士会主催の講習会」を受講、15名(32.6%)が「民間主催の講習会」を受講していた。

今後も歯科関係の研修会や勉強会に参加したいと思うかの設問には、48名(70.6%)が「とてもそう思う」、19名(27.9%)が「やや思う」、1名(1.4%)が「あまり思わない」と回答した。「新人」では、10名(71.4%)が「とてもそう思う」、4名(28.6%)が「やや思う」と回答し、「復職」では31名(67.4%)が「とてもそう思う」、14名(30.4%)が「やや思う」、1名(2.2%)が「あまり思わない」と回答した。

4) 養成学校時代および卒業直後の状況に関する設問

歯科衛生士養成学校に進学した理由を選択肢から最もあてはまるもの1つ回答を求めたところ、1位は「資格の取得（歯科衛生士以外を含む）」で19名（29.7%）であった。2位は「歯科衛生士を志望」で18名（28.1%）、3位は「医療職への興味・関心」で13名（20.3%）であった。「新人」では1位「歯科衛生士を志望」で5名（38.5%）、次いで「資格の取得（歯科衛生士以外を含む）」が4名（30.8%）であった。「復職」では、1位は「資格の取得（歯科衛生士以外を含む）」・「歯科衛生士を志望」が11名（25.6%）で同数1位、次いで「医療職への興味・関心」が10名（23.3%）であった。

養成学校卒業直後の勤務先としては、「歯科診療所」が、53名（77.9%）と最も多く、次いで「病院/大学病院」が9名（12.2%）であった。「新人」では「歯科診療所」が71.4%、「病院/大学病院」が28.6%、「復職」では歯科診療所が80.4%、次いで企業が8.7%であった。

卒業後すぐの勤務先における勤務年数は、「1-3年未満」が26名（35.1%）と最も多く、次いで、3-5年が17名（23.0%）であった。「新人」では、「1-3年未満」が64.3%、「3-5年未満」が3名（21.4%）、復職では、「1-3年未満」が17名（37.0%）、「3-5年未満」が28.3%、「5-10年未満」が26.1%であった（図4）。

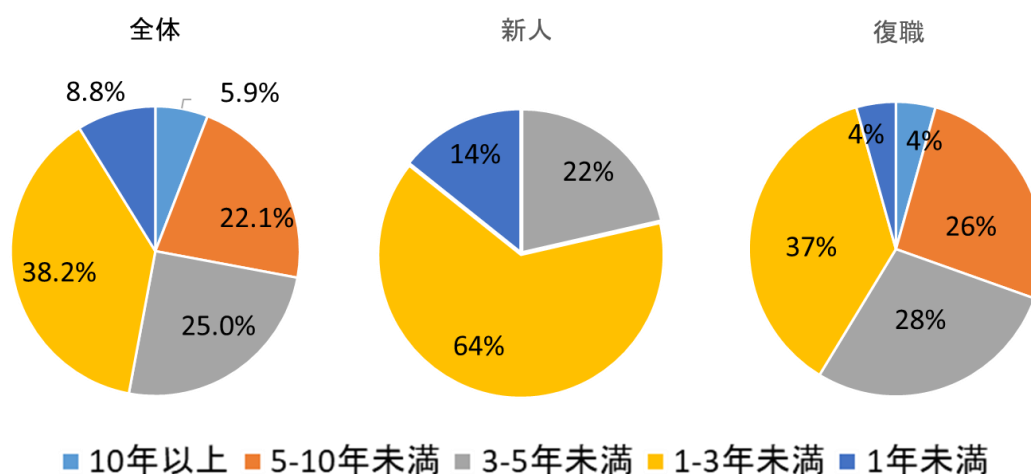


図4：養成学校卒業直後の勤務先での勤務年数

現在までの転職回数は、「4回以上」が18名（26.5%）と最も多く、次いで「3回」15名（22.1%）であった。新人では、「0回」が9名（64.3%）と最も多く、次いで「1回」が5名（35.7%）であった。復職では、「4回以上」が16名（34.8%）と最も多く、次いで「3回」28.3%）であった（図5）。

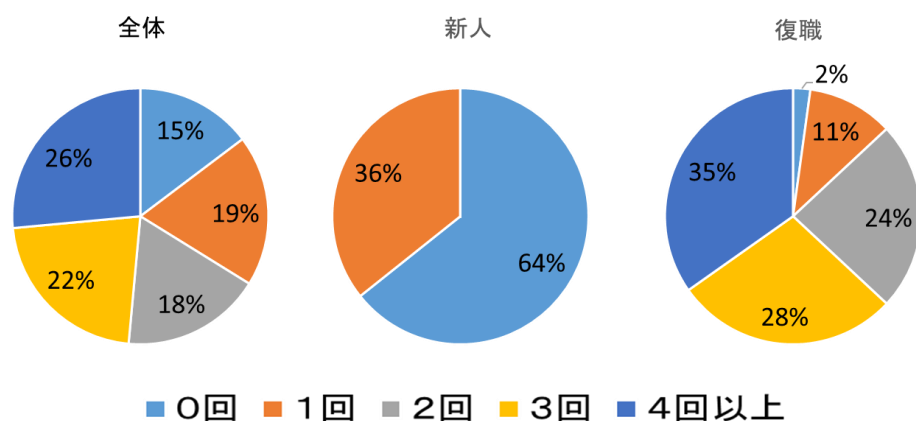


図5：卒後から現在までの転職回数

卒直後の就職時の不安に関しては、「自分の技術・知識不足」を選択したものが34名（45.9%）と最も多く、次いで、「不安はなかった」を選択したものが12名（16.2%）であった。「新人」では、「自分の技術・知識不足」を選択したものが8名（61.5%）で、次いで、「職場の人間関係」が3名（23.1%）であった。「復職」では、「自分の技術・知識不足」を選択したものが23名（52.3%）、次いで、「不安はなかった」を選択したものが9名（20.5%）であった（図6）。

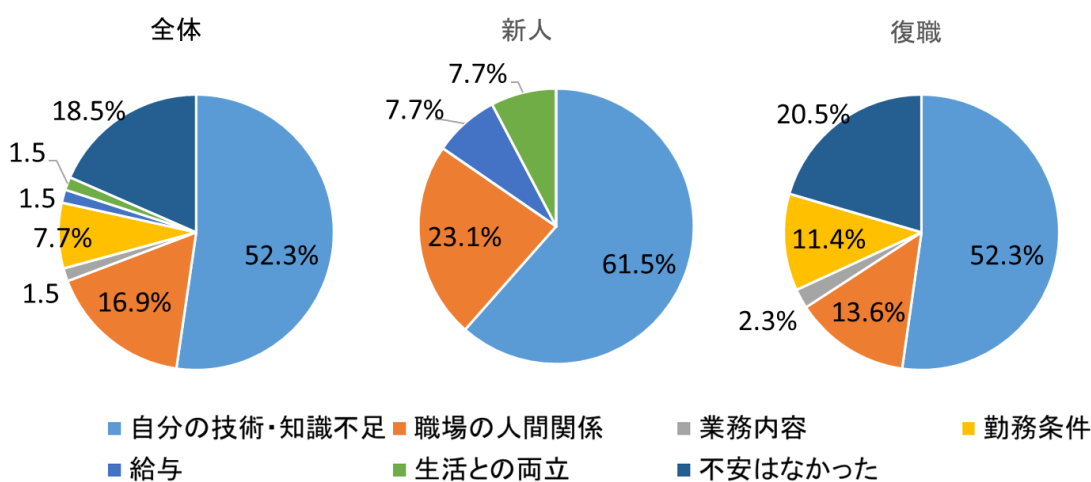


図6：卒直後の就職時の不安

卒直後の新人歯科衛生士に対して、早期の離職防止につながること（以下重要事項）として、選択肢から重視する順番に1位から3位まで回答を求めたところ、1位は、「相談できる仲間・環境」が17名（23.0%）、次いで「技術不足へのフォロー」が16名（21.6%）であった。2位では、「技術不足へのフォロー」が18名（24.3%）と最も多く、3位では、「相談できる仲間・環境」が17名（23.0%）と最も多かった。「新人」では、1位では「相談できる仲間・環境」が5名（35.7%）と最も多く、次いで「勤務先に研修制度

がある」が3名(21.4%)であった。2位では「技術不足へのフォロー」が5名(35.7%)と最も多く、3位では「相談できる仲間・環境」が4名(28.6%)であった。「復職」では、「技術不足へのフォロー」、「相談できる仲間・環境」が同数で10名(21.7%)であった。2位では「知識不足へのフォロー」「技術不足へのフォロー」、「相談できる仲間・環境」が同数で11名(23.9%)であった。3位では「技術不足へのフォロー」、「相談できる仲間・環境」が同数で12名(26.1%)であった(図7)。

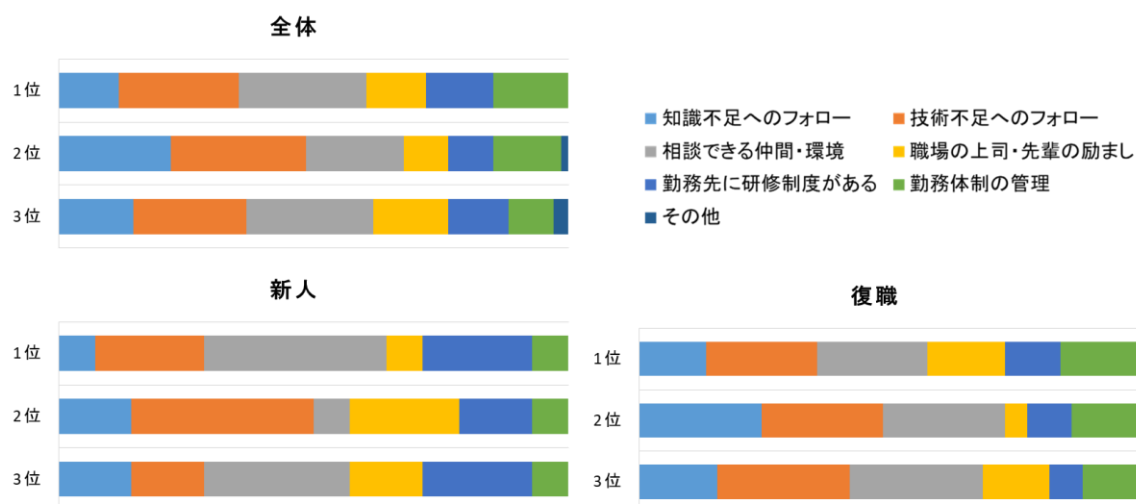


図7：卒直後の新人歯科衛生士に対する重要事項

5) 離職経験ならびに復職を考えたきっかけ

対象者のうち、歯科衛生士として仕事を離れていた時期があると回答したものは、51名(68.9%)であった。「新人」では3名(21.4%)、「復職」では44名(95.7%)であった。離職と復職に関する設問は、この51名に対して実施した(図8、以下の設問では新人・復職別は記載せず)。

職を離れていた理由を複数回答可で問うたところ、36名(70.6%)が「結婚、子育てのため仕事ができなくなったから」と回答し、次いで「歯科衛生士の仕事に魅力を感じなくなったから」が12名(23.5%)であった。

復職を考えたきっかけを複数回答可として問うたところ、「子育てなどがひと段落したから」が23名(45.1%)と最も多く、次いで、「仕事をする必要性ができたから」が13名(25.5%)であった(図9)。

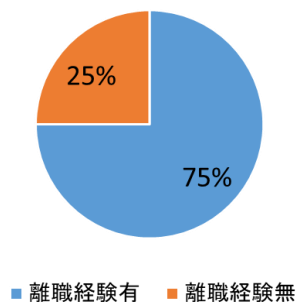


図 8：離職経験の有無

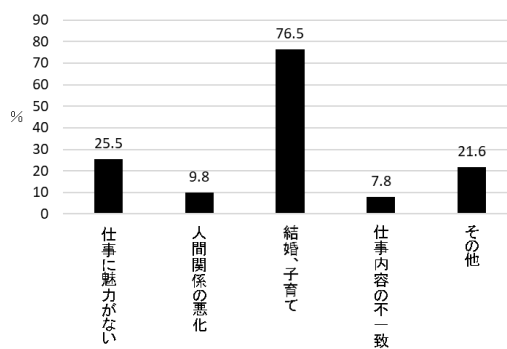


図 9：離職を考えたきっかけ（複数回答可）

復職直後の歯科衛生士に対して早期の離職防止につながるものとして、選択肢から重視する順番に 1 位から 3 位まで回答を求めたところ、1 位は、「技術不足へのフォロー」が 16 名 (31.4%)、次いで「知識不足へのフォロー」が 9 名 (17.6%) であった。2 位は、「知識不足へのフォロー」が 18 名 (35.3%)、「技術不足へのフォロー」17 名 (33.3%)、3 位は「知識不足へのフォロー」、「技術不足へのフォロー」、「相談できる仲間・環境」が同数 9 名 (17.6%) であった (図 10)。

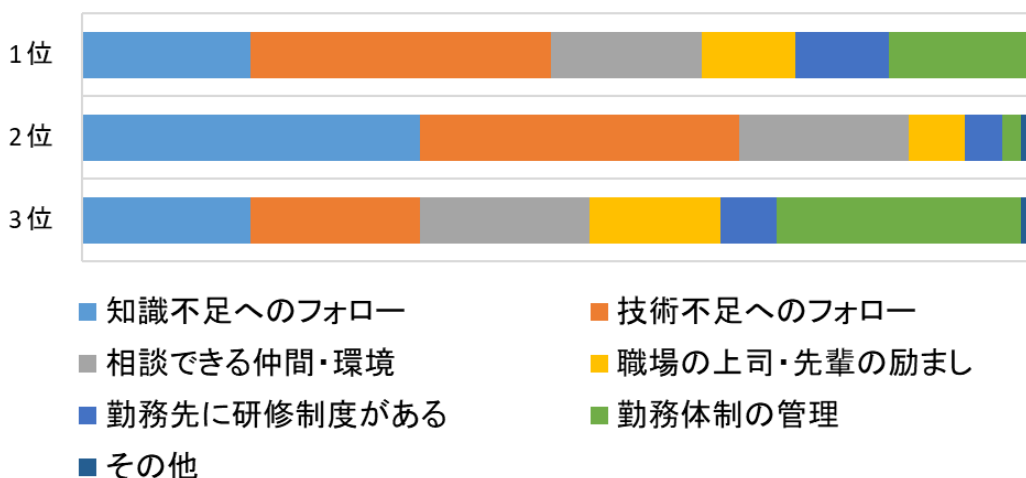


図 10：復職直後の歯科衛生士に対する重要事項

5) 歯科衛生士全般について

歯科衛生士を長く続けるために大切だと思うことを、選択肢から重視する順番に 1 位から 3 位まで回答を求めたところ、「勤務条件 (勤務時間・福利厚生)」が 21 名 (28.4%) と最も多く、次いで「仕事へのやりがい」18 名 (24.3%) であった。2 位は、「勤務条件 (勤務時間・福利厚生)」が 14 名 (18.9%) と最も多く、次いで「勤務待遇 (給与)」が 13 名 (17.6%) であった。3 位は、「仕事へのやりがい」が 12 名 (16.2%) と最も多く、次いで、「自分のスキル」が 10 名 (13.5%) であった。

「新人」の1位では「仕事へのやりがい」が7名(50.0%)、次いで「自分のスキル」と「相談できる仲間・環境」が同数2名(14.3%)、2位は「勤務条件(勤務時間・福利厚生)」が5名(35.7%)と最も多く、3位は「自分のスキル」、「勤務待遇(給与)」が同数3名(21.4%)であった。「復職」では、「勤務条件(勤務時間・福利厚生)」が18名(39.1%)と最も多く、次いで「自分のスキル」、「仕事へのやりがい」が同数7名(15.2%)であった。2位では、「勤務条件(勤務時間・福利厚生)」、「勤務待遇(給与)」が8名(17.4%)と最も多かった。3位では、「仕事へのやりがい」が10名(22.2%)と最も多く、次いで「自分のスキル」、「家族の理解やサポート(家事分担等)」が同数で7名(15.6%)であった(図11)。

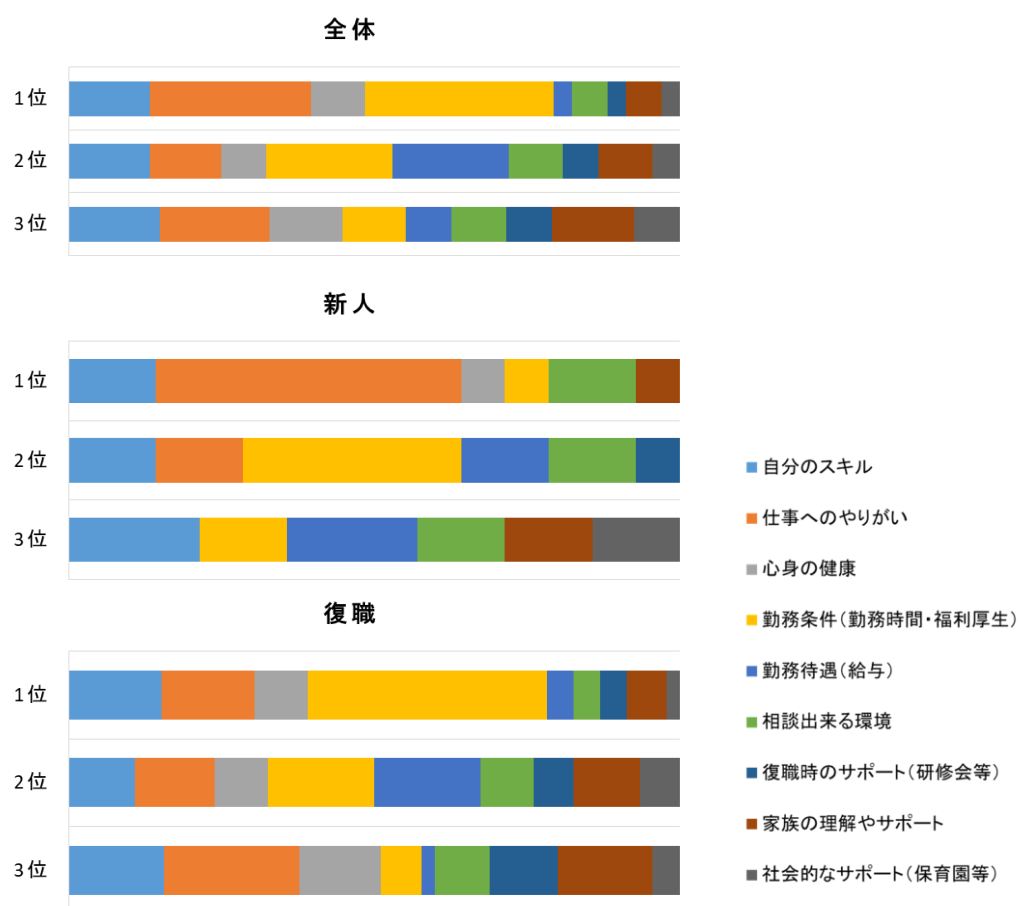


図11: 歯科衛生士を長く続けるための重要事項

生涯歯科衛生士として働きたいかに関しては、「はい」が41名(60.3%)、「どちらともいえない」が27名(39.7%)であった。「新人」では「はい」が8名(57.1%)、「どちらともいえない」が6名(42.9%)、「復職」では「はい」が27名(58.7%)、「どちらともいえない」が19名(41.3%)であった。

現在就職先を決める際に重視することを、選択肢から重視する順番に1位から3位まで回答を求めたところ1位では「勤務時間」が17名(25.0%)で最も多く、次いで「勤

勤務場所」、「業務内容」「職場の人間関係」が同数14名(20.6%)であった。2位は、「勤務時間」が18名(26.5%)で最も多く、次いで、「勤務場所」が17名(25.0%)であった。3位は、「給与」で20名(29.4%)であった。「新人」の1位では、「業務内容」が5名(35.7%)と最も多く、次いで、「職場の人間関係」、「勤務場所」が3名(21.4%)であった。2位は、「給与」、「職場の人間関係」が同数4名(28.6%)で最も多く、3位では「給与」が5名(35.7%)で最も多く、次いで「福利厚生」が3名(21.4%)であった。「復職」の1位では、「勤務時間」が16名(34.8%)と最も多く、次いで「勤務場所」が10名(21.7%)であった。2位では、「勤務時間」が13名(28.3%)と最も多く、次いで「勤務場所」が12名(26.1%)であった。3位では「給与」、「職場の人間関係」が同数11名(23.9%)と最も多かった(図12)。

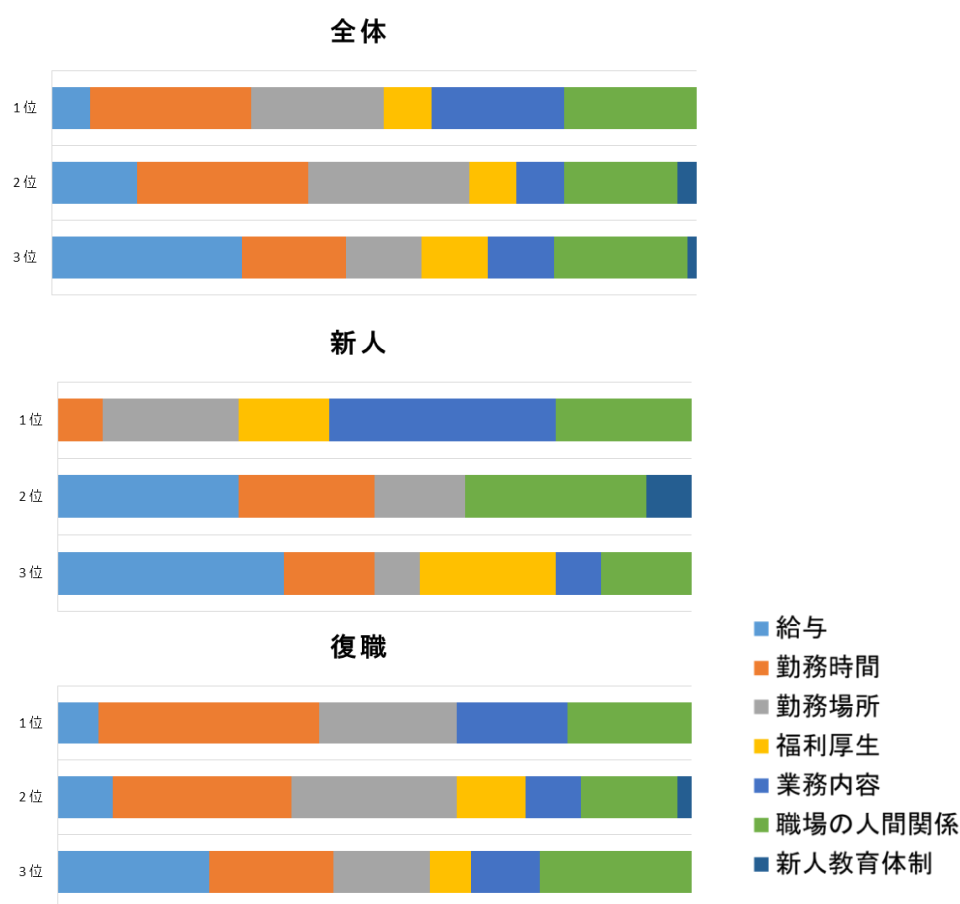


図12：現在就職先を決定する際の重要事項

歯科衛生士はやりがいのある仕事かについては、「はい」が51名(75.0%)、「どちらともいえない」が17名(25.0%)であった。「新人」では「はい」が9名(64.3%)、「どちらともいえない」が5名(35.7%)、「復職」では「はい」が36人(78.3%)、「どちらともいえない」が10名(21.7%)であった。

歯科衛生士になってよかったかに関しては、「はい」が46人(67.6%)、「どちらともいえない」が21名(30.9%)、「いいえ」が1人(1.5%)であった。「新人」では「は

い」が11名(78.6%)、「どちらともいえない」が3名(21.4%)、「復職」では、「はい」が29名(63.0%)、「どちらともいえない」が16名(34.8%)、「いいえ」が1名(2.2%)であった。

現時点におけるキャリア展望(仕事における将来設計)に関しては、「やや描けている」が25名(36.8%)、「あまり描けていない」が23名(33.8%)、「描けていない」が13名(19.1%)、「描けている」が7名(10.3%)であった。「新人」では、「あまり描けていない」が6名(42.9%)と最も多く、「やや描けている」が5名(35.7%)と続いた。「復職」では、「やや描けている」が17名(37.0%)と最も多く、「あまり描けていない」が14名(30.4%)、「描けていない」が11名(23.9%)であった。

キャリア設計にあたり、センター受講は「有用だった」が33名(48.5%)「とても有用だった」が21名(30.9%)、「どちらともいえない」が14名(20.6%)であった。「新人」では「とても有用だった」が7名(50.0%)、「どちらともいえない」が4名(28.6%)、「有用だった」が3名(21.4%)であった。「復職」では、「有用だった」が23名(50.0%)、「とても有用だった」が14名(30.4%)、「どちらともいえない」が9名(19.6%)であった。

これまでのキャリア設計に関する研修などの受講経験に関しては、「受講したことはない」が45名(66.2%)、「受講した」が18名(26.5%)、「覚えていない」が5名(7.4%)であった。「新人」では、「受講したことはない」が10名(71.4%)、「受講した」「覚えていない」が2名(14.3%)であった。「復職」では、「受講したことはない」が33名(71.7%)、「受講した」が11名(23.9%)、「覚えていない」が2名(4.3%)であった。

現時点における仕事と生活のバランスについて、「仕事と生活を両立」が38名(58.6%)、「生活優先」が20名(30.3%)、「仕事優先」が8名(12.1%)であった。「新人」では、「仕事と生活を両立」が10名(71.4%)、「仕事優先」「生活優先」が2名(14.3%)であった。「復職」では、「仕事と生活を両立」が23名(52.3%)、「生活優先」が16名(36.4%)、「仕事優先」が5名(11.4%)であった(図13)。

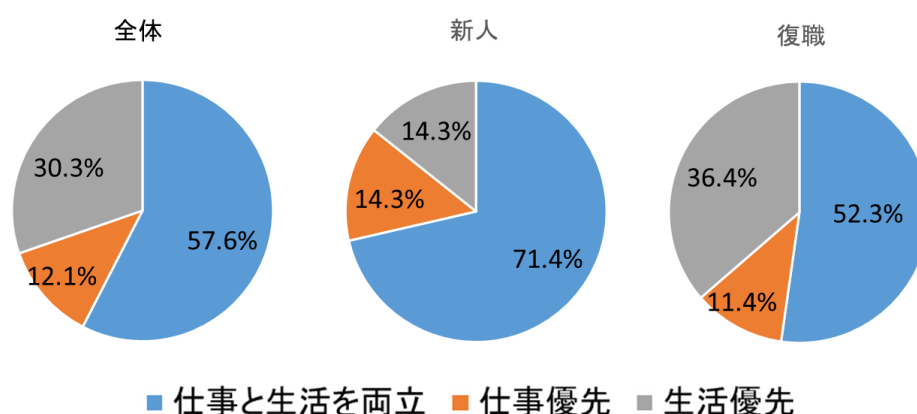


図13：仕事と生活のバランスについて

7) SOC スケール

本調査では、首尾一貫感覚を測定する心理尺度であるSOC (sense of coherence) スケールの短縮版SOC3項目7件法スケールを用いた。質問は、「Q1:私は、日常生じる困難や問題の解決策を見つけることができる」「Q2:私は、人生で生じる困難や問題のいく

つかは、向き合い、取り組む価値があると思う」「Q3:私は、日常生じる困難や問題を理解したり予測したりできる」の3つである。この3項目を、7ポイント（よくあてはまる:1～まったくあてはまらない:7）のSD (semantic differential) 法で回答を得た。

SOC は各項目のスコアをすべて逆転したうえで、個々人の合計点数を1ポイント1点とした総得点を使用し¹⁾、得点が高いほどSOCが強く、ストレス対処能力が高いと評価する²⁾。反転したスコアリング（最大21点となる）で学生ごとに3項目の合計得点を算出した結果、3-21の範囲をとり、16点が最も多く11名（16.2%）、次いで12点10名（14.7%）だった。平均（標準偏差）は14.7（3.8）で、合計得点は、12点以上が全体の83.8%を占めた。「新人」の平均（標準偏差）は15（3.6）、「復職」の平均（標準偏差）は14.3（4.0）であった（図14）。

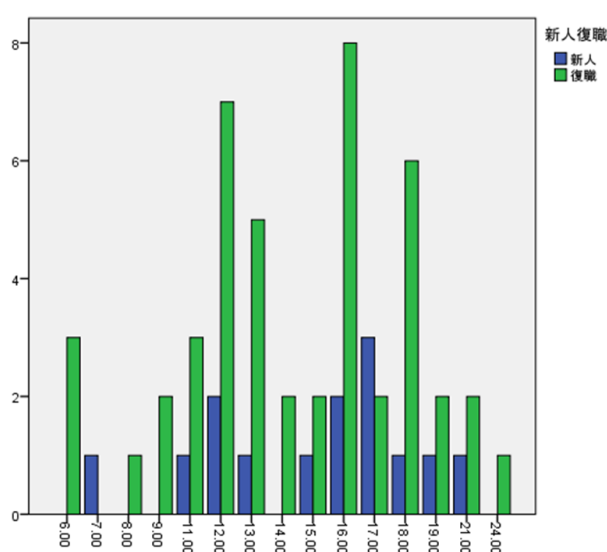


図14：新人、復職におけるSOC得点分布

D. 考察

本調査では7割を超える回収率が得られたこと、また無効となる調査票がなかった要因としては、東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科衛生士総合研修センターから修了生への調査協力要請、研究課題への高い関心等が考えられる。

以下、「新人」「復職」ならびに、卒直後、復職後など時期別にどのようなサポートが求められているのかに関して考察を行う。

1) 新人（免許取得3年未満）に関して

研修受講の理由として、「スキルの向上」「自信をつけたい」「新しい知識・技術を身につけたい」を選択したものが多かった（1-3位の計85.7%, 78.6%, 71.4%）。卒直後の不安として、新人の6割が「自分の技術・知識不足」を選択しており、自らの歯科衛生士としての知識・技術に対する不安が解消されない場合、早期離職に繋がることも想定される。センター受講後には「自信がついた」「新しい知識・技術が身についた」と回

答したものが約半数おり、不安解消に対する一定の効果があると考えられる。卒直後の新人歯科衛生士に対する重要事項としては、「技術不足へのフォロー」、「勤務先に研修制度がある」も多く選択されており、卒後研修における技術的な指導が求められていること、そしてより長期的なフォローにより「スキルの向上」を確実に自覚できるようなフォローアップ研修も検討すべきである。

また、センター受講理由としてはあまり選択されていない「相談できる仲間・環境」に関しては、センター受講後では約半数が選択し、卒直後の歯科衛生士に必要なサポートとして、最も多く選択されていた。研修受講をきっかけとし、自身と同じような不安や悩みを抱えている仲間の存在を認識し、相談できる環境の重要性への認識につながったと考えられる。

歯科衛生士として生涯働き続け歯科衛生士を長く続けるうえで「仕事へのやりがい」を半数が選択していた。6割が歯科衛生士はやりがいのある仕事だと回答し、3割強がどちらともいえないと回答している。卒前教育・卒後教育として、歯科衛生士としての社会的意義・やりがいを積極的に伝えていくことも必要と考えられる。

今回の回答者のうち、「新人」にあたるものは14人と少人数のため、今後対象となる人数を増やしさらに分析を進める必要がある。今後、全国での研修受講者に対して調査を進めていきたいと考えている。

2) 復職（免許取得後3年以上で求職中もしくは復職後3年未満）に関して

歯科衛生士としての離職経験があるものは、離職に至った理由として、76.5%が「結婚・子育てのため仕事ができなくなったから」と回答し、復職に至ったきっかけとして「子育てなどがひと段落したから」(45.1%)「仕事をする必要性ができたから」(25.5%)と回答している。研修受講の理由として、「自信をつけたい」「スキルの向上」「新しい知識・技術を身につけたい」を選択したものが多かった(1-3位の計84.8%, 76.1%, 71.7%)。また、「復職したいと思ったから」は1位に多く選択されていた。結婚・子育てというライフステージの変化に伴い一度は離職に至った歯科衛生士は、研修受講によって新しい知識・技術を身につけ復職への自信がついたのではないかと考えられる。復職直後の歯科衛生士に対する重要事項としても、「知識不足へのフォロー」「技術不足へのフォロー」が多く選択されていた。

また、研修受講後には、「相談できる仲間・環境ができた」ことを実感するものが多く、復職直後の歯科衛生士に対する重要事項としても多く選択されていた。このような環境づくりの点においてもセンターの存在意義が示されたと考えられる。

復職者の67%が回答時点において非常勤として勤務していた。これは、復職直後の歯科衛生士に対する重要事項において「勤務体制の管理」が選択されていること、歯科衛生士を長く続けるための重要事項として「勤務条件(勤務時間・福利厚生)」、現在就職先を決定する際の重要事項として「勤務時間」「勤務場所」、仕事と生活のバランスについて36.4%が「生活優先」、52.3%が「仕事と生活を両立」が選択されており、復職歯科衛生士の早期離職防止に対しては、勤務環境も重要な要素であることが示唆された。

E. 結論

免許取得直後、もしくは求職中・復職直後の歯科衛生士の歯科衛生士総合研修センターにおける研修受講は知識・技術の獲得、相談できる仲間・環境の獲得、自信の獲得につながったと考えられた。仕事と生活が両立しやすい、もしくは生活優先でも勤務が継続できる勤務条件（勤務時間・勤務場所）を整えることも歯科衛生士の離職防止・復職支援において重要と考えられた。

F. 引用文献

- 1) Togari T, Yamazaki Y, Nakayama K, Shimizu J. Development of a short version of the sense of coherence scale for population survey. J Epidemiol Community Health. 2007;61(10):921-922.
- 2) SOC スケールとその概要 SOC スケールの種類と内容・使用上の注意点・課題：戸ヶ里 泰典, 山崎 喜比古：看護研究 42 (7) : 505-516 ; 2009.

G. 研究発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

説明文書（調査へのご協力をお願い）の内容をご確認いただき、下記の口に✓を記入したうえでご回答をお願いいたします。（確認欄） 説明文書の内容を確認したうえで、調査へ協力することに同意します

令和元年度厚生労働科学研究「歯科医療従事者の働き方と今後の需給等に関する調査研究」
歯科衛生士の働き方等に関する調査 調査票

- ・調査票はこの用紙の両面です、1～4ページまであります。
 - ・ご回答は、鉛筆または黒・青のボールペンでお願いします。
 - ・ご回答は、あてはまる数字を○印で囲んでいただくか、数字のご記入をお願いします。
- 「その他」を選択の場合は、（ ）に具体的な内容をご記載ください。

問1. 現在のあなたの状況を教えてください。
勤務されている場合は、およその週当たりの勤務時間と勤務先の種別に○を付けてください。

1. 歯科衛生士として常勤勤務（週____時間勤務） ⇒勤務先：1. 歯科診療所 2. 病院（一般・歯科） 3. 介護施設 4. 在宅訪問歯科診療 5. 行政 6. その他（ ）
2. 歯科衛生士として非常勤勤務（全部で週____時間勤務） ⇒勤務先：1. 歯科診療所 2. 病院（一般・歯科） 3. 介護施設 4. 在宅訪問歯科診療 5. 行政 6. その他（ ）
3. 求職中
4. その他（ ）

問2. 歯科衛生士総合研修センター受講開始時のあなたの状況を教えてください。

1. 歯科衛生士免許取得後3年未満で就業中
2. 歯科衛生士免許取得後3年未満で離職中・求職中
3. 歯科衛生士免許取得後3年以上かつ歯科衛生士として離職中・求職中
4. 歯科衛生士免許取得後3年以上かつ歯科衛生士として復職し3年未満
5. その他（ ）

問3. 歯科衛生士総合研修センターをどのようにして知りましたか？
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. チラシ（免許証交付時に同封等）	2. インターネット（本院ホームページ）
3. 新聞・雑誌などの掲載記事	4. 歯科衛生士会のホームページ
5. 出身校（同窓会含む）などからの紹介	6. 知人からの紹介
7. 勤務先の上司・同僚からの紹介	8. その他（ ）

問4. 今回研修を受講しようと考えた理由を教えてください。
選択肢より、重視する順番に、1位から3位までお答えください。

1. スキルの向上	2. 自信をつけたい	3. 勤務先で受講を勧められた	4. 知人に誘われたから
5. 新しい知識・技術を身につけたい	6. 相談できる環境・仲間が欲しい		
7. 復職したいと思ったから	8. その他（ ）		

第1位		第2位		第3位	
-----	--	-----	--	-----	--

問5. 研修を受講してよかったですか？
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても良かった	2. 良かった	3. まあまあ良かった	4. 普通
5. あまり良くなかった	6. 良くなかった	7. とても良くなかった	

問6. 研修を受講してどのように感じましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|------------|-------------------|
| 1. スキルが向上した | 2. 自信がついた | 3. 新しい知識・技術が身についた |
| 4. 相談できる環境・仲間ができた | 5. その他 () | |

問7. 過去1年間に他の研修を受講しましたか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------------|---------------------|
| 1. 他の復職支援講習会 | 2. 歯科衛生士会主催の講習会 | 3. 出身校や他校の同窓会主催の講習会 |
| 4. 民間主催の講習会 | 5. その他 () | |

問8. 今後も歯科関係の研修会や勉強会に継続して参加したいと思いますか？
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---------|------------|-----------|
| 1. とても思う | 2. やや思う | 3. あまり思わない | 4. 全く思わない |
|----------|---------|------------|-----------|

問9. あなたが歯科衛生士養成学校に進学した理由はどのようなことですか？
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 資格の取得（歯科衛生士以外を含む） | 2. 医療職への興味・関心 |
| 3. 人からの勧め（家族、先生等） | 4. 歯科衛生士を志望 |
| 5. 学校の場所（立地/通学の便） | 6. 就職に困らない |
| 7. 経済的に自立できる | 8. 短期大学/4年制大学の卒業 |
| 9. 特に理由はない | 10. その他 () |

問10. 歯科衛生士養成学校卒業後すぐ、どのようなところで働きましたか？
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|----------------------|
| 1. 歯科診療所 | 2. 病院/大学病院 | 3. 行政（保健所/都道府県/市区町村） |
| 4. 介護保険施設等 | 5. 企業 | 6. 歯科衛生士養成学校 |
| 7. その他 () | | |

問11. 卒業後すぐ、最初の勤務先で、何年くらい働きましたか（働いていますか）？
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 10年以上 | 2. 5年～10年未満 | 3. 3年～5年未満 |
| 4. 1年～3年未満 | 5. 1年未満 | |

問12. 卒業後から現在までに何回程度勤務先を変りましたか。
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-----------------|
| 1. 0回 | 2. 1回 | 3. 2回 | 4. 3回 | 5. 4回以上（具体的に 回） |
|-------|-------|-------|-------|-----------------|

問13. 卒業後すぐの就職に不安がありましたか？最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|------------|---------------|--------------|
| 1. 自分の技術・知識不足 | 2. 職場の人間関係 | 3. 業務内容 | 4. 勤務条件* |
| 5. 給与 | 6. 心身の健康 | 7. (家庭)生活との両立 | 8. 不安はなかった |
| 9. その他 () | | | ※勤務時間、手当、休暇等 |

問14. 卒業後すぐの新人歯科衛生士に対して、どのようなことが早期の離職防止につながると考えますか？
選択肢より、重要だと思う順番に、1位から3位までお答えください。

- | | | |
|-----------------|----------------|---------------|
| 1. 知識不足へのフォロー | 2. 技術不足へのフォロー | 3. 相談できる仲間・環境 |
| 4. 職場の上司・先輩の励まし | 5. 勤務先に研修制度がある | 6. 勤務体制の管理 |
| 7. その他 () | | |

第1位

第2位

第3位

問15. 卒業後、歯科衛生士としての仕事を離れていた時期はありますか？

1. はい (計 _____ 年くらい)	2. いいえ
----------------------	--------

→ 問16に進む

→ 問19に進む

問16. 問15で「はい」と答えた方は、歯科衛生士の職を離れていた理由は、どのようなことでしたか？
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 歯科衛生士の仕事に魅力を感じなくなったから	2. 職場の人間関係の悪化から
3. 結婚、子育てのため仕事ができなくなったから	4. 仕事の内容があわなかったから
5. その他 (_____)	

問17. 問15で「はい」と答えた方は、復職を考えたきっかけはどのようなことでしたか？
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子育てなどがひと段落したから	2. 仕事をする必要性ができたから
3. 社会の歯科衛生士に対するニーズを感じたから	4. 歯科関係者に復職を勧められたから
5. その他 (_____)	

問18. 問15で「はい」と答えた方は、**復職後すぐ**の歯科衛生士に対して、どのようなことが早期の離職防止につながると考えますか？ 選択肢より、重要だと思う順番に、1位から3位までお答えください。

1. 知識不足へのフォロー	2. 技術不足へのフォロー	3. 相談できる仲間・環境
4. 職場の上司・先輩の励まし	5. 勤務先に研修制度がある	6. 勤務体制の管理
7. その他 (_____)		

第1位		第2位		第3位	
-----	--	-----	--	-----	--

問19. 歯科衛生士を長く続けるためにはどのようなことが大切だと思いますか？
選択肢より、重要だと思う順番に、1位から3位までお答えください。

1. 自分のスキル	2. 仕事へのやりがい	3. 心身の健康
4. 勤務条件 (勤務時間・福利厚生)	5. 勤務待遇 (給与)	6. 相談できる環境
7. 復職時のサポート (研修会等)	8. 家族の理解やサポート (家事分担等)	
9. 社会的なサポート (保育園等)		

第1位		第2位		第3位	
-----	--	-----	--	-----	--

問20. 生涯、歯科衛生士として働きたいと思いますか？
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. どちらともいえない
-------	--------	--------------

問21. 現在あなたが就職先を決める際に重視するのは、どのようなことですか？
選択肢より、重視する順番に、1位から3位までお答えください。

1. 給与	2. 勤務時間	3. 勤務場所	4. 福利厚生
5. 業務内容	6. 職場の人間関係	7. 新人教育体制	

第1位		第2位		第3位	
-----	--	-----	--	-----	--

問22. 歯科衛生士はやりがいのある仕事だと思いますか？
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. どちらともいえない
-------	--------	--------------

裏面に続きます

問23. 現在、あなたは歯科衛生士になってよかったと思いますか？

最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. どちらともいえない
-------	--------	--------------

問24. 現時点であなたはキャリア展望（仕事における将来設計）を描けていますか？

最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 描けている	2. やや描けている	3. あまり描けていない	4. 描けていない
----------	------------	--------------	-----------

問25. 歯科衛生士としてのキャリア設計にあたり、今回の歯科衛生士総合研修センター研修受講はどの程度有用でしたか？ 最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても有用だった	2. 有用だった	3. どちらともいえない	4. 有用ではなかった
-------------	----------	--------------	-------------

問26. キャリア設計にあたり、歯科衛生士総合研修センター受講前までにキャリア設計に関連した授業や研修などを受講したことはありますか？最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 受講した（ 歳頃）	2. 受講したことはない	3. 覚えていない
-----------------	--------------	-----------

問27. 現時点におけるあなたの仕事と（自分の）生活のバランスは以下のうちどれに当てはまりますか？ 最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 仕事と生活と両立	2. 仕事優先	3. 生活優先
-------------	---------	---------

問28. 下記の①～③について、1から7のうち、あなたの感じ方を最もよく表わしている数字1つに○をつけてください。

	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">よく</td> <td style="width: 10%;">あてはまる</td> <td colspan="3" style="width: 40%;">\longleftrightarrow</td> <td style="width: 10%;">まったく</td> <td style="width: 10%;">あてはまらない</td> </tr> </table>							よく	あてはまる	\longleftrightarrow			まったく	あてはまらない
よく	あてはまる	\longleftrightarrow			まったく	あてはまらない								
①私は、日常生じる困難や問題の解決策を見つけることができる。	1	2	3	4	5	6	7							
②私は、人生で生じる困難や問題のいくつかは、向き合い、取り組む価値があると思う。	1	2	3	4	5	6	7							
③私は、日常生じる困難や問題を理解したり予測したりできる。	1	2	3	4	5	6	7							

問29. ご自身についてお答えください。

① 年齢（2019年12月1日時点）	<input style="width: 80%;" type="text"/>	歳	※ 数字をご記入ください
② 歯科衛生士免許取得年	<input style="width: 80%;" type="text"/>	年	※ 西暦をご記入ください
③卒業した養成学校の種類 ※○は1つ	1. 1年制 2. 2年制（昼間部・夜間部） 3. 3年制（昼間部・夜間部） 4. 4年制		

設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。